

生駒市学校教育の目標（平成 30 年度・平成 31 年度）新旧対照表

平成 30 年度	平成 31 年度
<p>(1 ページ)</p> <p>生駒市の学校教育を支える教員一人一人の指導力の向上</p> <p>○OJT（On the Job Training）の機能した職場</p> <p>頑張る教員や学校を支援する仕組みづくり</p>	<p>(1 ページ)</p> <p>生駒市の学校教育を支える教職員一人一人の指導力の向上</p> <p>○OJT（<u>職場で実務をさせることで行う教職員の職業教育</u>）の機能する学校づくり</p> <p><u>意欲のある教職員や学校の取組</u>を支援する仕組みづくり</p>
<p>(2 ページ)</p> <p>幼稚園・こども園の具体的な取組</p> <p>①新幼稚園教育要領を踏まえたアクティブ・ラーニングを推進する。</p> <p>⑥幼小接続に向けての取組を推進する。</p> <p>小学校の重点課題</p> <p>①問題解決に向けた主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の充実</p> <p>②読書活動の充実</p> <p>③情報モラルの向上</p>	<p>(2 ページ)</p> <p>幼稚園・こども園の具体的な取組</p> <p>①幼稚園教育要領を踏まえ、<u>子どもが主体的・意欲的に関わることができる環境を教職員全体で創造する。</u></p> <p>⑥<u>保幼小接続</u>に向けての取組を推進する。</p> <p>小学校の重点課題</p> <p>①問題解決に向けた主体的・対話的で深い学びの<u>実現</u></p> <p>②<u>グローバル時代</u>に対応した英語教育の推進</p> <p>③<u>規範意識</u>の醸成</p>

- ④心の居場所となる学級づくり
- ⑤グローバル時代に対応した英語教育の推進
- ⑦規範意識の醸成
- ⑧自尊感情の醸成

小学校の具体的な取組

- ①新学習指導要領の実施を踏まえたアクティブ・ラーニングを推進し、ICT 機器活用等による授業を充実する。
- ②学校司書の協力により児童の感性を磨き、創造力を育成する読書教育を推進する。
- ③「いこまスマホ宣言 2016」の周知を図り、情報モラル向上のための取組を推進する。
- ④「いじめ防止基本方針」をもとに、いじめ防止等の取組を推進する。また、スクールカウンセラー活用等による不登校児童への支援を充実する。
- ⑤ALT、わくわくイングリッシュサポーターの協力により、1年生から英語の楽しさを感じられる英語教育を推進する。
- ⑦「きまりを守ること」「礼儀正しく人に接すること」の意義についての理解を深める取組を推進する。

- ④自尊感情の醸成
- ⑤心の居場所となる学級づくり
- ⑦読書活動の充実
- ⑧情報モラルの向上

小学校の具体的な取組

- ①平成 32 年度（2020 年度）からの新学習指導要領の全面実施を踏まえた主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行い、ICT 機器を効果的に活用する。
- ②ALT、わくわくイングリッシュサポーターの協力により、1年生から英語の楽しさを感じられる取組を行い、小・中学校 9 年間を通した英語教育カリキュラムの実施を推進する。
- ③「きまりを守ること」「礼儀正しく人に接すること」の意義についての理解を深める取組を推進する。
- ④キャリア教育の取組や各種事業等を活用することにより、創造力・達成感・自己肯定感・自己有用感を育成する。
- ⑤「いじめ防止基本方針」をもとに、いじめ防止等の取組を推進する。また、スクールカウンセラー活用等による不登校児童への支援を充実する。
- ⑦学校司書の協力により児童の感性を磨き、創造力を育成する読書教育を推進する。

- ⑧各種事業等を活用することにより、創造力・達成感・自己肯定感を育成する。
- ⑨幼小接続の取組を推進するとともに、中学校との連携を深める。

(3 ページ)

中学校の重点課題

- ①問題解決に向けた主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の充実
- ②読書活動の充実
- ③情報モラルの向上
- ④心の居場所となる学級づくり
- ⑤グローバル時代に対応した英語教育の推進
- ⑦規範意識の醸成
- ⑧自尊感情の醸成

中学校の具体的な取組

- ①新学習指導要領の実施を踏まえたアクティブ・ラーニングを推進し、ICT 機器活用等による授業を充実する。
- ②ビブリオバトル大会への参加等による読書活動を推進する。

- ⑧「いこまスマホ宣言 2016」の周知徹底による、情報モラル向上のための取組を推進する。
- ⑨保幼小接続の取組を推進するとともに、中学校との連携を深める。

(3 ページ)

中学校の重点課題

- ①問題解決に向けた主体的・対話的で深い学びの実現
- ②グローバル時代に対応した英語教育の推進
- ③規範意識の醸成
- ④自尊感情の醸成
- ⑤心の居場所となる学級づくり
- ⑦読書活動の充実
- ⑧情報モラルの向上

中学校の具体的な取組

- ①平成 33 年度（2021 年度）からの新学習指導要領の全面実施を踏まえた主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行い、ICT 機器を効果的に活用する。
- ②ALT の協力による英語教育を推進し、異文化に出合ったり親しんだりする活動等を通して国際感覚を育成する。また、小・中学校 9 年間を通したカリキュラムに取り組み、中学校卒業時の目指す子どもの姿

- ③ 「いこまスマホ宣言 2016」、学校独自のスマホ利用のルールの周知を図り、情報モラル向上のための取組を推進する。
- ④ 「いじめ防止基本方針」をもとに、いじめ防止等の取組を推進する。また、スクールカウンセラー活用等による不登校生徒への支援を充実する。
- ⑤ ALT の協力による英語教育を推進し、異文化に出合ったり親しんだりする活動等を通して国際感覚を育成する。
- ⑦ 「きまりを守ること」「礼儀正しく人に接すること」の意義についての理解を深める取組を推進する。
- ⑧ 各種事業等を活用することにより、創造力・達成感・自己肯定感を育成する。

安全で信頼される園・学校づくりの重点課題

- ★自己評価・学校関係者評価の結果を踏まえた積極的な園・学校の改善
- ★人事評価結果を踏まえた一人一人の教員の人間力向上のための研修の実施
- ★園・学校・家庭・地域の連携と協働による地域と共にある学校づくり
- ★学力・学習状況調査結果の分析による児童生徒の実態に即した授業の改善

の実現を図る。

- ③ 「きまりを守ること」「礼儀正しく人に接すること」の意義についての理解を深める取組を推進する。
- ④ キャリア教育の取組や各種事業等を活用することにより、創造力・達成感・自己肯定感・自己有用感を育成する。
- ⑤ 「いじめ防止基本方針」をもとに、いじめ防止等の取組を推進する。また、スクールカウンセラー活用等による不登校生徒への支援を充実する。
- ⑦ 読書離れの改善に取り組み、ビブリオバトル大会への参加等による読書活動を推進する。
- ⑧ 「いこまスマホ宣言 2016」、学校独自のスマホ利用のルールの周知徹底による、情報モラル向上のための取組を推進する。

安全で信頼される園・学校づくりの重点課題

- ★自己評価・学校関係者評価の結果を踏まえた、学校運営の活性化
- ★人事評価結果を踏まえた一人一人の教職員の教育力向上のための研修の実施
- ★園・学校・家庭・地域の連携と協働による社会に開かれた学校づくり
- ★学力・学習状況調査結果から児童生徒の実態を把握し、その分析に即した授業の改善